



Biolron2007京都 フォローアップ シンポジウム

「Biolron 研究の新時代」
New Era of Biolron Research
-a follow up symposium of
Biolron2007 京都-



平成20年2月15日(金)／16日(土)
東京都(有楽町よみうりホール)

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-11-1 読売会館7階
TEL 03-3231-0551 FAX 03-3231-4847

主催

内閣府日本学術会議
日本鉄バイオサイエンス学会
厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)
「特発性造血障害に関する調査研究」班

協賛(ゴールドスポンサー)

エーザイ株式会社
ノバルティス ファーマ株式会社

第一日

平成20年2月15日(金) 18:00~19:30

18:00 - 18:10

開会挨拶

日本学術会議副会長 浅島 誠(東京大学 副学長) [予定]
日本鉄バイオサイエンス学会会長 高後 裕(旭川医科大学 教授)
厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)
「特発性造血障害に関する調査研究」班 班長 小澤 敬也(自治医科大学 教授)

18:10 - 19:30

第一部 特別講演(同時通訳あり)

司会 高久 史麿(自治医科大学 学長)

特別講演 1 (40分)

"Iron chelation therapy in myelodysplastic syndrome"

Stuart L Goldberg
(Hackensack University Medical Center 教授)

特別講演 2 (40分)

"Non-invasive measurement of Body Iron"
John K Olynyk
(University of Western Australia 教授)

19:30~21:00

レセプション (東京會館)

第二日

平成20年2月16日(土) 8:30~12:30

8:30 - 9:45

第二部 鉄代謝分子機構研究の新展開

司会 新津洋司郎(札幌医科大学 教授)
岸 文雄(川崎医科大学 教授)

1. Membrane Iron Transporter研究の進歩(35分)
Hiromi Gunshin (University of Massachusetts 准教授)
2. ヘプシジンと腎性貧血、最新の知見(20分)
友杉 直久(金沢医科大学 教授)
3. Lipocalin, mammalian siderophoreと鉄代謝(20分)
森 潔(京都大学 講師)

9:45 - 11:05

第三部 骨髄不全と鉄過剰

司会 澤田 賢一(秋田大学 教授)
浦部 晶夫(NTT関東病院 予防医学センター長)

1. 赤血球造血と鉄代謝異常(20分)
高後 裕(旭川医科大学 教授)
2. ミトコンドリアヘム鉄代謝異常と鉄芽球性貧血(20分)
張替 秀郎(東北大学 教授)
3. 我が国における骨髄不全と輸血後鉄過剰(20分)
中尾 眞二(金沢大学 教授)
4. 鉄キレート療法の進歩と適正使用ガイドライン(20分)
小澤 敬也(自治医科大学 教授)

11:05 - 11:25 休憩(コーヒープレーク)

11:25 - 12:25

第四部 Biolron研究の将来展望

司会 岡田 茂(岡山大学 教授)
西田 雄三(山形大学 教授)

1. 肝炎・肝臓と鉄制御(20分)
加藤 淳二(札幌医科大学 准教授)
2. 胸膜中皮腫とアスベスト・鉄発癌(20分)
豊國 伸哉(京都大学 准教授)
3. 神経変性疾患と鉄代謝(20分)
宮嶋 裕明(浜松医科大学 准教授)

12:25 - 12:30

閉会 Biolron2007京都フォローアップシンポジウム
代表世話人 高後 裕